

Q&A

長期経過を追えた胃隆起性病変

【問題】

症例：70 歳代，女性。

既往歴：50 歳代：悪性リンパ腫（1 年間の治療で完治）。60 歳代：膵尾部膵管内乳頭状粘液性腫瘍（経過観察中，著変なし）。

主訴：食思不振，心窩部不快感。

現病歴：治療 4 年前，上記を主訴に当科受診。上部消化管内視鏡検査を施行（Figure 1），胃体上部大彎に病変を指摘。その後，1 年前と治療前に

上部消化管内視鏡検査，拡大内視鏡検査，超音波内視鏡検査を施行（Figure 2, 3, 4）。

来院時現症：身体・理学所見に異常を認めず。血液検査所見では，CA19-9 が 69U/ml と軽度上昇していた。

考えられる疾患は？

解答は（1439p）に掲載

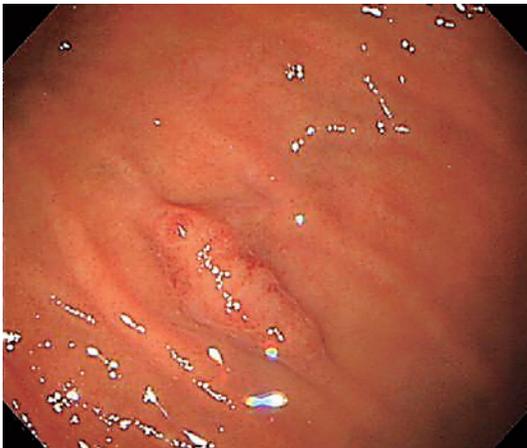


Figure 1. 上部消化管内視鏡検査（治療 4 年前）。



Figure 2. 上部消化管内視鏡検査（治療前）。

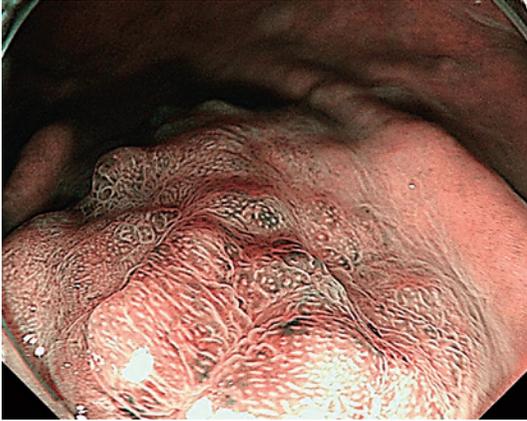


Figure 3. 拡大内視鏡検査 (治療前・弱拡大).

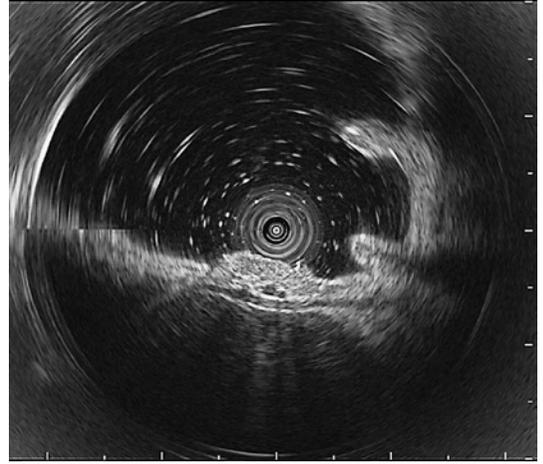


Figure 4. 超音波内視鏡検査 (治療前).